

二〇二三年度 大妻中野中学校 第一回 海外帰国生入試

十一月五日 問題用紙

国語

受 験 番 号			
			番
		氏	名

受験上の注意

- (一) この問題用紙は表紙を含めて九ページあります。
- (二) 試験開始後ただちにページ数を確認してください。
- (三) 問題用紙、解答用紙それぞれに受験番号と氏名を記入してください。
受験番号は算用数字で記入してください。
- (四) 試験時間は五十分です。
- (五) 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- (六) この試験は百点満点です。

□ 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

「真逆の日本の森と世界の森」

地球全体から見ると、森林は面積を急速に減少させている。とくにアジア、アフリカ、そして中南米の熱帯地域やロシアなどの亜寒帯地域は、過剰伐採が進んで危機的な状況だ。伐採は用材を得るためのほか、農園開発のためや、炊事や暖房用の薪の採取のために進んでいる。そのため森林面積が減少するだけでなく、残された森も劣化している。だから森林問題とは、即伐採反対であった。

だが、日本では事態が逆なのである。木があまり伐採されないことが森林環境を悪くしているのだ。

それを説明するには、日本の森林の歴史からだらなくてはならない。日本列島は、湿潤温暖で、森林の生育には非常に恵まれた気候と地域である。しかし、過密な人口を抱える中で農地開発やエネルギー源としての森林の過剰利用が進み、江戸時代までは決して良好な状態ではなかった。早くから都市の周辺には、禿山が広がっていたのである。

明治時代の森林率は、おそらく四五％程度だっただろうと推定されている。しかし、明治の後半から、緑化が進められ、徐々に回復していたようだ。ところが太平洋戦争時には、また乱伐が進んでしまった。そこで戦後は、大規模な国民的造林運動が行われた。毎年数十万ヘクタールもの山に植林が行われたのである。禿山はもちろん、草地や岩山まで木を植えた。燃料革命で用途の減った雑木林などをスギやヒノキの人工林に換える拡大造林策も取られた。

その結果、現在は国土の六七％が森林に覆われた、^{*1} 世界に冠たる森林大国になったと言えるだろう。しかも全森林面積の四割に当たる一〇〇〇万ヘクタールが人工林だ。この人が作った森林の多くはまだ若くて、年々太り続けている。

人工林は、主にスギやヒノキが植えられているが、造林技術としては最初は密植して、生長する過程で^{*2} 間伐を^{*3} 施す。ある程度育ったところで間伐すると、密な森林は空かされて光が差し込むことで残った木の生長がうながされた。一方で間伐材を利用することで利益をもたらす効果もあった。

ところが戦後の急速な経済発展を支えるには、まだ十分に育っていない国内の人工林では間に合わず、^{*3} 外材の解禁を招いた。加えて国産材の複雑な流通や加工能力の衰えが、外材にシェアを奪われる原因となった。今や木材需要の八割が外材に取って代わられてしまったのである。

しかも為替の変動によって下がった外材の値に合わせて国産材も安値に落ちこんだ。そのため日本の林業は採算が合わなくなり、人工林の経営放

棄が進んでいる。多くの山主^{やまぬし}は、森林から利益を得ることをあきらめてしまった。結果的に間伐などの育林作業も行われなくなった。そのため植えられたままの本数が生えている。しかし同年齢で、おそらく同じ母樹から育てた苗を一斉に植えたのだから、育ち方にあまり差がつかず、どの木も大きく育たない状況になりがちだ。

そんな混んだ状態が続く人工林内は、光が差し込まず^{したくさ}下草も生えない。草がなければ虫や鳥獣は生息できず生物多様性は落ちるうえ、樹冠^{じゅかん}から落ちる^{しずく}雫^{しずく}が直接地面をたたき、土壌の流出を招く。それは山崩れ^{くず}を引き起こし、河川の氾濫^{はんらん}につながるかもしれない状態になっているのである。こうした山も、遠目^{とよめ}には緑に覆われているが、実は非常に危険な状態だ。「緑の沙漠」と呼ぶ人さえいる。

人の手によって作られた森林は、基本的に人の手を入れて維持するべきなのである。さもないと生物多様性も保水力も劣った森林になってしまう。この状態の森林を救うには、早く人の手を入れる必要がある。

また生長速度は、天然林よりも人工林の方がはるかに早く、二酸化炭素の吸収量も高いことが認められている。平均値で比べると、その差はほとんど二倍ある。天然林を維持するよりも、人工林を健全に管理する方が、地球温暖化防止の役割としては効果が大きいということになる。

(田中淳夫『割り箸はもったいない?―食卓からみた森林問題』ちくま新書より)

【語注】

*1 世界に冠たる：世界中で最も優れた水準にあるといった意味。

*2 間伐：木と木の間隔が混んできたとき、樹木に十分な陽光と空間を与えるために不適當な樹木を切りること。

*3 外材：海外から輸入された木材・木製品の総称。

問 「日本の森林問題」と「その解決法」について、筆者の考えをキーワードを用いて百字以内でまとめなさい。なお、問題点と解決方法がはっきり分かるように書くこと。

【キーワード】 緑の沙漠、人工林、密植

*下書き用マス目

二 次の各問に答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の①～⑩の――部について、漢字とひらがなに直しなさい。

- ① どうしよう、砂糖に塩をまぜてしまった。
- ② 英語と日本語をまぜて話をする。
- ③ 今回の台風で屋根がいたんだ。
- ④ 固いせんべいをかじったので、歯がいたんだ。
- ⑤ 長いこと苦労して希望の仕事についた。
- ⑥ 大きな会場でも迷わず自分の席についた。
- ⑦ 今年は父が町内会長をつとめる。
- ⑧ 明日から早起きにつとめる。
- ⑨ やぶれたチケットを持ちながら彼女は泣いていた。
- ⑩ 熱戦の末、彼のチームはやぶれた。

B ことわざ・慣用句・四字熟語に関する問題

問二 次の①～⑩の四字熟語の意味をあとのア～コより一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 悪戦苦闘
- ② 一日千秋
- ③ 右往左往
- ④ 起承転結
- ⑤ 空前絶後
- ⑥ 七転八倒
- ⑦ 無我夢中
- ⑧ 有名無実
- ⑨ 朝三暮四
- ⑩ 不言実行

- ア. 過去にも将来にもないほど^{めずら}珍しいこと。
- イ. 混乱してうろたえること。
- ウ. 文章や物事の秩序ある組み立て。
- エ. 待ち遠しくて、一日が非常に長く感じられること。
- オ. するべきことをだまって実行すること。
- カ. 不利な状況の中で必死に努力すること。
- キ. 名ばかりで実質がともなっていないこと。
- ク. ある事に心をうばわれて我を忘れること。
- ケ. 目先のちがいにとらわれ、実際は同じであるのに気づかないこと。
- コ. 苦しみのため転げ回ること。

C 文法・言葉づかいに関する問題

問三 次の①～③の――部の語と同じ意味・働き方をしているものをあとのア～エより一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ピカソの絵は落書きのようだが、とても価値がある絵だ。

ア. 原作の小説を読んだが、とても感動した。

イ. 今日の自宅学習は予習もするが、復習もする。

ウ. 兄の作った作品が、校長室の前に展示されている。

エ. 彼女の声は声量はあつてよいが、音が外れている。

② 今日は寒いから、手袋をして出かけよう。

ア. みそは大豆から作る発酵食品です。

イ. 田舎のおじいさんから、ビデオレターが届く。

ウ. レシピ通りに作ったから、おいしいクッキーができた。

エ. 電車が遅れたので、今日の授業は九時からはじまる。

③ 鳥には長い羽で大空を飛ぶものもいれば、森の中を歩くものもいる。

ア. 君の家にはパソコンもあれば、スマホもある。

イ. 集団の中になれば、あまり目立たない。

ウ. 宿題が終わったならば、一緒におやつを食べよう。

エ. この木は無理に曲げれば、折れてしまうよ。

問四 次の①・②の――部の語と同じ働き方をしているものをあとのア～エより一つずつ選び、記号で答えなさい。

① ある晩、私はとても不思議な夢を見た。

ア. ゲルニカ、この絵はとても有名だ。

イ. うれしいことに一度で当たりが出た。

ウ. それはとても価値のある骨董品こっとうひんだった。

エ. このあたりでちよっと一休みしよう。

② 冬なのにかみなりがごろごろ鳴っている。

ア. 商店街でおばさんたちのひそひそ話が聞こえた。

イ. 兄はニキビのようなぶつぶつができて痛いと言っている。

ウ. 姉はさつきから漫画を見てはくすくす笑っている。

エ. あの建物は、誰も修理をしないからぼろぼろだ。

問題は以上です。